

建 築 工 事 成 績 評 定 書

工事担当課

技術監理課

起案日 令和 年 月 日

起案日 令和 年 月 日

完了日 令和 年 月 日

完了日 令和 年 月 日

工事担当課						技術監理課						工事担当課								
局長	次長	部長	課長	係長	係	課長	係長	係												
												局 部 課								
工 事 名						契 約 番 号														
請 負 人						当 初 契 約 金 額														
契 約 日						令 和 年 月 日						最 終 契 約 金 額								
当 初 契 約 工 期						令 和 年 月 日 ~ 令 和 年 月 日						工 事 日 数		日		完 成 日		令 和 年 月 日		
最 終 契 約 工 期						令 和 年 月 日 ~ 令 和 年 月 日						遅 延 日 数※8		日		完 成 認 定 日		令 和 年 月 日		
現 場 代 理 人 氏 名						主 任 ・ 監 理 技 術 者 氏 名														
評 定 項 目			工 事 監 督 員					工 事 担 当 課 長					検 査 員							
			職 名 氏 名					職 名 氏 名					職 名 氏 名							
※ 1																				
項 目	細 別		a	b	c	d	e	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e			
1. 施工体制	I. 施工体制一般			+1.5	0	-5.0	-10.0													
	II. 配置技術者		+3.0	+1.5	0	-5.0	-10.0													
2. 施工状況	I. 施工管理			+1.5	0	-5.0	-10.0						+5.0	+2.5	0	-5.0	-15.0			
	II. 工程管理		+1.0	+0.5	0	-5.0	-10.0	+10.0	+5.0	0	-7.5	-15.0								
	III. 安全対策		+2.0	+1.0	0	-5.0	-10.0	+15.0	+7.5	0	-7.5	-15.0								
	IV. 対外関係		+2.0	+1.0	0	-2.5	-5.0													
3. 出来形及び 出来映え	I. 品質		+2.0	+1.0	0	-2.5	-5.0						+15.0	+7.5	0	-15.0	-30.0			
	II. 出来映え		+2.0	+1.0	0	-5.0								+15.0	+7.5	0	-10.0			
4. 高度技術	I. 高度技術力 ※2		+	(≤ 13)		0														
5. 創意工夫	I. 創意工夫 ※2		+	(≤ 7)		0														
6. 社会性等	I. 地域への貢献等 ※3							+10.0	+5.0	0										
加減点合計 (1+2+3+4+5+6)			+ - 点					+ - 点					+ - 点							
評定点 (65 ± 加減点合計) ※4			① 点					② 点					③ 点							
評定点			④ = ① × 0.4 点					⑤ = ② × 0.2 点					⑥ = ③ × 0.4 点							
7. 評定点計			⑦ = ④ + ⑤ + ⑥ 点																	
8. 法令遵守等 ※5								⑧ - 点												
9. 評定点合計 ※6			⑨ = ⑦ - ⑧ 点																	
所見 ※7																				

※1 評定項目毎の採点は、工事監督員は別紙6～別紙6-7、工事担当課長は別紙7～別紙7-2、検査員は別紙8～別紙8-3-3によるものとし、工事監督員、工事担当課長、検査員の順に記載する。

※2 高度技術及び創意工夫の評価は工事全般を通して、特に優れた技術等を評価する項目とする。そのため、キーワードと評価内容の記述方式とし、加減評価のみとする。評価に当たっては、工事担当課長との合議をもって行うものとする。

※3 社会性等の評価では地域への貢献度の観点から、加減評価のみとし、工事担当課長が行う。

※4 評定点 = 65点 ± 加減点合計 (1～6の評定) 各評定点は四捨五入により小数第1位まで記入する。

※5 法令遵守等の評価は、減点評価のみとし、工事担当課長が行う。

※6 評定点合計 = 評定点計 - 法令遵守等 評定点合計は、四捨五入により整数とする。

※7 所見は必ず記入する。

※8 請負人の責めに帰すべき遅延日数を記入する。

※9 評定は、該当する加減点を○で囲む。なお、4、5、8は具体的な点数を記入する。

建築工事細目別評定点採点表

工 事 名			
請 負 人			
当 初 契 約 日	令和 年 月 日	契 約 番 号	

評定項目	評定項目細別	①工事監督員	②工事担当課長	③検査員	細目別評定点
1.施工体制	I. 施工体制一般	()×0.4+2.6 点			／ 3.2点
	II. 配置技術者	()×0.4+2.6 点			／ 3.8点
2.施工状況	I. 施工管理	()×0.4+2.6 点		()×0.4+6.5 点	／ 11.7点
	II. 工程管理	()×0.4+2.6 点	()×0.2+4.3 点		／ 9.3点
	III. 安全対策	()×0.4+2.6 点	()×0.2+4.3 点		／ 10.7点
	IV. 対外関係	()×0.4+2.6 点			／ 3.4点
3.出来形及び出来映え	I. 品質	()×0.4+2.6 点		()×0.4+9.8 点	／ 19.2点
	II. 出来映え	()×0.4+2.6 点		()×0.4+9.7 点	／ 19.1点
4.高度技術	I. 高度技術力	()×0.4+2.6 点			／ 7.8点
5.創意工夫	I. 創意工夫	()×0.4+2.6 点			／ 5.4点
6.社会性等	I. 地域への貢献等		()×0.2+4.4 点		／ 6.4点
7.法令遵守等			()×1.0 点		点
評定点合計					／ 100点

- ※ (①+②+③)=細目別評定点
- ※ 各評定点は四捨五入により少数第1位まで記入する。
- ※ 評定点合計は、四捨五入により整数とする。

様式第7号

建築工事成績評定書（通知用）

工 事 名			
請 負 人			
当初契約日	令和 年 月 日	契 約 番 号	
最終契約金額			
最 終 工 期	令和 年 月 日	～	令和 年 月 日
完 成 日	令和 年 月 日	完成認定日	令和 年 月 日
評 定 項 目	細 別	評定点 / 満点	
1. 施工体制	I. 施工体制一般	/	3.2 点
	II. 配置技術者	/	3.8 点
2. 施工状況	I. 施工管理	/	11.7 点
	II. 工程管理	/	9.3 点
	III. 安全対策	/	10.7 点
	IV. 対外関係	/	3.4 点
3. 出来形及び出来映え	I. 品質	/	19.2 点
	II. 出来映え	/	19.1 点
4. 高度技術(加点のみ)	高度技術	/	7.8 点
5. 創意工夫(加点のみ)	創意工夫	/	5.4 点
6. 社会性等(加点のみ)	地域への貢献等	/	6.4 点
7. 法令遵守等(減点のみ)			点
評 定 点 合 計		/	100 点

[記入方法]該当する項目の□にレマークを記入する。「評価対象項目」は、○(適切であった)、×(適切でなかった)、対象外の□のいずれかにレマークを記入する。

(工事監督員)

評定項目	細 別	a	b	c	d	e
			施工体制が適切である	他の事項に該当しない	施工体制がやや不備である	施工体制が不備である
1. 施工体制	I. 施工体制 一般	<p>○ × 対象外 (評価項目)</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 工事規模に応じた人員、機械配置がなされ、施工していた。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 建設業退職金共済制度に関する届出書が提出されていた。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 工事カルテの登録は、監督職員の確認を受けた上で契約後に行われていた。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工体制台帳、施工体系図が整備され、施工体系図も現場に掲げられ、現場と一致していた。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 作業分担の範囲が施工体制台帳、施工体制図で確認できた。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 「施工プロセス」チェックで、指摘事項が無かった。または指摘事項に対する改善が速やかに(次回)実施された。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他(理由)</p> <p style="text-align: center;">該当数/評価対象項目数 = () / () = () %</p> <p style="text-align: center;">80%以上 : b ※評価対象外の項目は削除し、 60%以上80%未満 : c 削除後の評価項目数を評価対象 60%未満 : d 項目数として計算する。</p>				<p><input type="checkbox"/> 施工体制が不備であり、文書により改善指示を行った。</p> <p style="text-align: center;">上記該当あれば : e</p>
	II. 配置 技術者等	<p>a 適切に配置されている</p> <p>b ほぼ適切に配置されている</p> <p>c 他の事項に該当しない</p> <p>d やや不備である</p> <p>e 不備である</p>	<p>○ × 対象外 (評価項目)</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 現場代理人として、工事全体の把握ができていた。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 現場代理人として、監督職員との連絡調整を適切に行っていた。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 書類整理、資料整理が適切に処理されていた。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 契約書、設計図書、指針等を良く理解し、現場に反映して工事を行っていた。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 設計図書の照査が十分で、現場との相違があった場合は適切に対応していた。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 下請の施工体制、施工状況を把握し、よく指導していた。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 主任技術者又は、監理技術者として技術的判断に優れ、良好な施工に努めていた。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 労働安全衛生規則に定める作業主任者を選任し、配慮していた。(労働安全衛生法第14条)</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 作業環境、気象、地質条件等の困難克服に努めていた。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 「施工プロセス」チェックで指摘事項が無かった。または指摘事項に対する改善が速やかに(次回)実施された。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他(理由)</p> <p style="text-align: center;">該当数/評価対象項目数 = () / () = () %</p> <p style="text-align: center;">90%以上 : a 80%以上90%未満 : b ※評価対象外の項目は削除し、 60%以上80%未満 : c 削除後の評価項目数を評価対象 60%未満 : d 項目数として計算する。</p>			

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法]該当する項目の□にレマークを記入する。「評価対象項目」は、○(適切であった)、×(適切でなかった)、対象外の□のいずれかにレマークを記入する。

(工事監督員)

評価項目	細 別	a	b	c	d	e	
			施工計画が適切である	他の事項に該当しない	施工計画がやや不備である	施工計画が不備である	
2. 施工状況	I. 施工管理	○ × 対象外 (評価項目) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 工事請負契約書19条第1項第1号から5号に係わる設計図書の照査を行い、工事監督員の確認を受けて施工を行っていた。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工計画書が工事着手前に適切に提出されていた。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工計画書の内容が、設計図書の内容及び現場条件を反映したものとなっていた。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工計画書と現場の施工方法及び施工体制等が一致していた。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 工事材料の使用及び調達計画が十分なされ、管理されていた。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 段階確認及びその報告が適時、的確に行われていた。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 工事記録の整備が適時、的確になされていた。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 現場内での整理整頓が日常的になされていた。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 建設廃棄物及びリサイクルへの取り組みが適切にされていた。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 品質確保のための対策が見られた。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 現場でのイメージアップに積極的に取り組んでいた。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 「施工プロセス」チェックで指摘事項が無かった。また指摘事項に対する改善が速やかに(次回)実施された。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他(理由)			<input type="checkbox"/> 設計図書と適合しない箇所があり、文書により改善請求を行った。 <input type="checkbox"/> 定められた工事材料の検査義務を怠り、破壊検査を行った。 <input type="checkbox"/> 契約図書に基づく施工上の義務につき、文書により改善指示を行った。		1項目でも該当あれば：d 2項目以上該当：e
	II. 工程管理	a 工程管理が適切である	b 工程管理がほぼ適切である	c 他の事項に該当しない	d 工程管理がやや不備である	e 工程管理が不備である	
		○ × 対象外 (評価項目) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> フォローアップ等を実施し、工程の管理を行っていた。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 休日の確保を行っていた。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 計画的に工事を進め、工期内に完成した。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 工程表の内容が検討され、関連工事との調整もよく充実していた。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 現場条件の変更への対応が積極的で処理が早く、また地元調整を積極的に行い円滑な工事進捗を行った。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 現場での工程管理を詳細工程表等により、日常的に把握されていた。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 時間制限等の各種制約があるにもかかわらず、工程の短縮を行った。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 「施工プロセス」チェックで指摘事項が無かった。また指摘事項に対する改善が速やかに(次回)実施された。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他(理由)			<input type="checkbox"/> 請負者の責により工期内に工事を完成させなかった。		上記該当あれば：e
		<input type="checkbox"/> 自主的な工程管理がなされず、文書により改善指示を行った。			上記該当あれば：d		

[記入方法]該当する項目の□にレマークを記入する。「評価対象項目」は、○(適切であった)、×(適切でなかった)、対象外の□のいずれかにレマークを記入する。

(工事監督員)

評価項目	細 別	a	b	c	d	e	
		適切に行った	ほぼ適切に行った	他の事項に該当しない	やや不備であった	不備であった	
2. 施工状況	Ⅲ. 安全対策	<p>○ × 対象外 (評価項目)</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 工事現場の安全管理について適切な措置を行い、工事期間中無事故であった。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 工事現場における保安施設等が適切に設置され、よく整備されていた。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 安全巡視、TBM(ツルホックスミーティング)、KY(危険予知活動)等を実施し、記録を整備していた。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 新規入場者教育を実施し、実施内容に現場の特性が十分反映され、記録が整備されていた。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 災害防止(工事安全)協議会等を設置し、1回/月以上活動し、記録が整備されていた。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 店社パトロールを1回/月以上実施し、記録が整備されていた。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 各種安全パトロール等で指摘を受けた事項について、速やかに改善を図り、かつ関係者に是正報告していた。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 安全教育・訓練等を半日/月以上適時、的確に実施し、記録が整備され、かつ創意工夫をしていた。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 過積載防止に取り組んでいた。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 重機操作に際して、誘導員配置や重機と人の行動範囲の分離措置がなされていた。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 山留め、仮締切等について、設置後の点検及び管理がチェックリスト等を用いて実施されていた。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 足場や支保工について、組立完了時や使用中の点検及び管理がチェックリスト等を用いて実施されていた。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 「施工プロセス」チェックで指摘事項が無かった。また指摘事項に対する改善が速やかに(次回)実施された。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他(理由)</p> <p style="text-align: center;">該当数/評価対象項目数 = () / () = () %</p> <p>90%以上 : a ※評価対象外の項目は削除し、削除後の評価項目数を評価対象項目数として計算する。なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は、c評価とする。</p> <p>80%以上90%未満 : b</p> <p>60%以上80%未満 : c</p> <p>60%未満 : d</p>			<p><input type="checkbox"/> 安全対策の不備により重大な災害を受けた。</p> <p style="text-align: center;">上記該当あれば : e</p> <p><input type="checkbox"/> 安全管理に関する現場管理または防災体制が不適切であった。</p> <p style="text-align: center;">上記該当あれば : d</p>		
	Ⅳ. 対外関係	<p>a 適切に行った</p> <p>b ほぼ適切に行った</p> <p>c 他の事項に該当しない</p> <p>d やや不備であった</p> <p>e 不備であった</p>			<p>○ × 対象外 (評価項目)</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 工事施工にあたり、関係官公庁等の関係機関と調整し、トラブルの発生がなかった。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 工事施工にあたり、地元との適切な折衝及び調整を行い、第三者からの苦情又はトラブルが少なかった。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 関連工事との調整を行い、関連工事を含む工事全体の円滑な進捗に寄与していた。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 苦情に対して的確に対応し、良好な対外関係であった。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 「施工プロセス」チェックで指摘事項が無かった。また指摘事項に対する改善が速やかに(次回)実施された。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他(理由)</p> <p style="text-align: center;">該当数/評価対象項目数 = () / () = () %</p> <p>90%以上 : a ※評価対象外の項目は削除し、削除後の評価項目数を評価対象項目数として計算する。なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は、c評価とする。</p> <p>80%以上90%未満 : b</p> <p>60%以上80%未満 : c</p> <p>60%未満 : d</p>		<p><input type="checkbox"/> 関連工事との調整に関して、発注者の指示に従わなかったため、関連工事を含む工事全体の進捗に支障が生じた。</p> <p style="text-align: center;">上記該当あれば : e</p> <p><input type="checkbox"/> 請負者の対応による苦情が多い。または対応が悪くトラブルがあった。</p> <p><input type="checkbox"/> 関係法令に違反する恐れがあったため、文書により指示を行った。</p> <p style="text-align: center;">上記該当あれば : d</p>

[記入方法]該当する項目の□にレマークを記入する。「評価対象項目」は、○(適切であった)、×(適切でなかった)、対象外の□のいずれかにレマークを記入する。

(工事監督員)

評価項目 細 別	工 種	a	b	c	d	e
		品質管理が適切である	品質管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	品質管理がやや不備である	品質管理が不備である
評価項目 3. 出来形 及び 出来映え 細 別 I. 品 質	建築工事 (新築)	○ × 対象外 (評価項目) (躯体工事) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工計画書に適切な品質計画を定めており、管理されていた。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工の品質・形状が適切で良好な施工であった。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 品質計画による品質管理記録が整備され、材料の品質証明も適切であった。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 不可視部分の写真記録が適切であった。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 品質管理方法が明確で品質確保に創意工夫が見られた。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他 (仕上工事) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工計画書に適切な品質計画を定めており、管理されていた。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工の品質・形状が適切で良好な施工であった。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 品質計画による品質管理記録が整備され、材料の品質証明も適切であった。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 不可視部分の写真記録が適切であった。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 品質管理方法が明確で品質確保に創意工夫が見られた。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他 該当数/評価対象項目数 = () / () = () % 90%以上 : a 80%以上90%未満 : b 60%以上80%未満 : c 60%未満 : d <small>※評価対象外の項目は削除し、 削除後の評価項目数を評価対象 項目数として計算する。</small>			<input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当あれば : d	<input type="checkbox"/> 工事請負契約書第18条2項に基づき破壊検査を行った。 上記該当あれば : e
	建築工事 (改修)	a b c 品質管理が適切である 品質管理がほぼ適切である 他の事項に該当しない			<input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当あれば : d	<input type="checkbox"/> 工事請負契約書第18条2項に基づき破壊検査を行った。 上記該当あれば : e

建築

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。「評価対象項目」は、○(適切であった)、×(適切でなかった)、対象外の□のいずれかにレマークを記入する。

(工事監督員)

評価項目	細 別	工 種	a	b	c	d
			仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い		他の事項に該当しない	仕上げが悪く全体的に美観が悪い
3. 出来形及び出来映え	Ⅱ. 出来映え	建築工事 (新築)	<p>○ × 対象外 (評価項目)</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> きめ細かな施工がなされ取り合いの納まりや端部まで仕上がりがよかった。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 関連工事との調整がなされ、全体に調和が良い仕上であった。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 使い勝手や使用者の安全に対する配慮が適切であった。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 仕上がりの状態が良好で色調が均一で色むら等が無かった。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 外構を含め全体的な美観が良好であった。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他</p> <p>該当数/評価対象項目数 = () / () = () %</p> <p>90%以上 : a</p> <p>80%以上90%未満 : b</p> <p>60%以上80%未満 : c</p> <p>60%未満 : d</p> <p>※評価対象外の項目は削除し、削除後の評価項目数を評価対象項目数として計算する。</p>			
		建築工事 (改修)	<p>○ × 対象外 (評価項目)</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> きめ細かな施工がなされ取り合いの納まりや端部まで仕上がりがよかった。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 既存部分や関連設備との調和がなされ全体的に調和が良い仕上であった。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 使い勝手や使用者の安全に対する配慮が適切であった。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 仕上がりの状態が良好であった。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 室内の塵芥処理等が適切に行われ、良質な施工が伺えた。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他</p> <p>該当数/評価対象項目数 = () / () = () %</p> <p>90%以上 : a</p> <p>80%以上90%未満 : b</p> <p>60%以上80%未満 : c</p> <p>60%未満 : d</p> <p>※評価対象外の項目は削除し、削除後の評価項目数を評価対象項目数として計算する。</p>			

建築

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。「評価対象項目」は、○(適切であった)、×(適切でなかった)、対象外の□のいずれかにレマークを記入する。

(工事監督員)

評価項目	細 別	工 種	a	b	c	d
			仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い		他の事項に該当しない	仕上げが悪く全体的に美観が悪い
3. 出来形及び出来映え	Ⅱ. 出来映え	設備工事	<p>「設備工事」 ○ × 対象外 (評価項目) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> きめ細かな施工がなされていた。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 構造物とのすりつけが良かった。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 関連工事との調整がなされ、全体に調和が良くとれた仕上がりであった。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 使用者に対する安全及び保守点検に対する配慮が適切であった。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 建築設備としての品質・性能が確保されていた。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他</p> <p>「設備工事」 ○ × 対象外 (評価項目) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> きめ細かな施工がなされていた。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 構造物とのすりつけが良かった。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 関連工事との調整がなされ、全体に調和が良くとれた仕上がりであった。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 使用者に対する安全及び保守点検に対する配慮が適切であった。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 建築設備としての品質・性能が確保されていた。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他</p> <p>「設備工事」 ○ × 対象外 (評価項目) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> きめ細かな施工がなされていた。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 構造物とのすりつけが良かった。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 関連工事との調整がなされ、全体に調和が良くとれた仕上がりであった。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 使用者に対する安全及び保守点検に対する配慮が適切であった。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 建築設備としての品質・性能が確保されていた。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他</p> <p style="text-align: center;"> 該当数／評価対象項目数 = () / () = () % 90%以上 : a ※各設備の種類ごとに評価する 80%以上90%未満 : b ※評価対象外の項目は削除し、削除後の評価項目数を評価対象項目数として計算する。 60%以上80%未満 : c 60%未満 : d </p>			

[記入方法]該当する項目の□にレマークを記入する。

(工事監督員)

評価項目	キーワード一覧	具体的事例
4. 高度技術 (建築) 細 別 I. 高度技術力	1. 建物条件 □ 規模・構造 □ 形状の複雑さ □ 耐震レベル □ その他	建物の延べ面積 10,000㎡以上の建物 総階数9階以上又は建物高さ31m以上の建物 地下2階以上の建物 大空間のホール等を有する建物 研究所等特殊設備・機能の有る建物 官庁施設の総合耐震計画基準においてI類及びA類に属する工事 耐震構造、免震構造の建物
	2. 技術特性 □ 工種・工法の特異性 □ 新工法 □ その他	施工場所や構造物の特異性に対処するための新技術、新工法を採用した工事 既存部分との競合度合いが複雑 パイロット工事。又は特異な試験フィールド工事で特許工法等の技術的に検討が必要な工事 その他特殊な工法及び材料等を用いた工事 VE提案された工法が、高度技術として評価できる場合
	3. 自然条件 □ 湧水の発生・地下水の影響 □ 軟弱地盤、支持地盤の状況 □ 工事用道路・作業スペース等の制約 □ 雨・雪・風・気温等の影響 □ その他	地下水位が高く、ウェルポイント等の排水設備の他、大規模な山留め工法が必要な工事 湧水の発生が多く、掘削作業時の影響が大きい 施工ヤードが狭く、高さ制限もあり、施工及び機械の移動や旋回等に制約を受けた工事 冬期施工のため、大規模な雪寒冬囲いをする必要があり、冬期の養生温度の管理や施工スペースの制限を受けた工事 その他自然条件又は地盤条件への対応が必要であり、特に評価すべき技術があると評価された工事
	4. 社会条件 □ 地中障害物 □ 工事の影響に配慮すべき近接物 □ 工事用道路、作業スペース等の制約 □ 周辺住民等に対する騒音・振動等の配慮 □ 周辺水域環境に対する水質汚濁の配慮 □ 交通規制及びその処理が伴う作業 □ 騒音・振動・水質汚濁以外の環境対策、 廃棄物処理等 □ その他	地下埋設物等の地中内の作業障害物 工事に影響する架空線・建物等の近接物 工事の実施にあたり各種の制約があり、工程的にも特に厳しく、施工の制限を受けた工事 地元調整や環境対策の制約が特に多い工事 休日・夜間工事が工程の60%以上を占める工事 工程上他工事の制約を受け、機械・人員の増強を行った工事 工事に先立ち又は施工中で、監視・観測等の結果に基づき、工法変更を行った工事 環境対策が工程に大きな影響を与えた工事 大気圧を越える気圧下の作業室での工事 酸欠、有毒・可燃性ガス等の対策が必要な工事 地上・水面から10m以上(10m以下)での工事
	5. 施工状況 □ 災害等での臨機の処置 □ 施工状況の変化に対応した施工・工法等 の自発的提案と対応等 □ その他 (理由)	特に困難な調整を要する他工事(近接工区)の請負者が複数ある工事 外来者の多い施設で、作業範囲内に外来者・行人の動線がある工事
評 点	点	高度キーワードの詳細(評価内容を詳細記述)

※1. 高度な技術力は、加点点評価とする。該当キーワード数の数と重みを勘案して評価する。

※2. 高度な技術力とは、工事全体を通して他の類似工事に比べて、特異な技術力を要する必要があった技術を評価するものである。なお、評価は「5. 創意工夫」との二重評価はしない。

※3. 詳細評価の記述にあたっては、工事担当課長との合議とし、各審査項目はキーワードで大分類し、評価する詳細な高度な技術力を記述する。

※4. 高度技術は「実用新案・特許クラス」から「現場に適用した本当に些細な工夫ではあるが非常に役立つ軽微な工夫」まで様々なレベルがあるが、「5. 創意工夫」で評価しなかったものを対象とする。

※5. 1項目2点を目安とするが、内容によってはそれ以上又は以下の点数を与えてもよい。なお、加点は+13点～0点の範囲とする。

[記入方法]該当する項目の□にレマークを記入する。

(工事監督員)

評価項目	キーワード一覧	具体的事例
4. 高度技術 (設備)	1. 種別条件 <input type="checkbox"/> 規模 <input type="checkbox"/> システムレベル <input type="checkbox"/> 耐震レベル <input type="checkbox"/> その他	建物の延べ面積 10,000㎡以上の建物 総階数9階以上又は建物高さ31m以上の建物 R1取り扱い施設、電磁シールドルーム、バイオハザード等施工の難しい設備 官庁施設の総合耐震計画基準において甲類に属する工事
細 別 1. 高度技術力	2. 技術特性 <input type="checkbox"/> 工種・工法の特異性 <input type="checkbox"/> 新工法 <input type="checkbox"/> その他	施工場所や構造物の特異性に対処するための新技術、新工法を採用した工事 既存部分との競合度合いが複雑 パイロット工事。又は特異な試験フィールド工事の特許工法等の技術的に検討が必要な工事 その他特殊な工法及び材料等を用いた工事 VE提案された工法が、高度技術として評価できる場合
	3. システム 複合条件 <input type="checkbox"/> システム間複合度 <input type="checkbox"/> 重要システムの複雑さ <input type="checkbox"/> 工事用道路・作業スペース等の制約 <input type="checkbox"/> その他	通信関係の工事種目が8以上 受変電設備容量が100KVAを超える 「排煙設備、自動制御、特殊空調、中央機械室設置、中央監視室設置」のうち4項目該当 「厨房、雨水処理、連結送水等」のうち3項目該当 施工ヤードが狭く、高さ制限もあり、施工及び機械の移動や旋回等に制約を受けた工事 冬期施工のため、大規模な雪寒冬囲いをする必要があり、冬期の養生温度の管理や施工スペースの制限を受けた工事 その他自然条件又は地盤条件への対応が必要であり、特に評価すべき技術があると評価された工事
	4. 社会条件 <input type="checkbox"/> 地中障害物 <input type="checkbox"/> 工事の影響に配慮すべき近接物 <input type="checkbox"/> 工事用道路、作業スペース等の制約 <input type="checkbox"/> 周辺住民等に対する騒音・振動等の配慮 <input type="checkbox"/> 周辺水域環境に対する水質汚濁の配慮 <input type="checkbox"/> 交通規制及びその処理が伴う作業 <input type="checkbox"/> 騒音・振動・水質汚濁以外の環境対策、 廃棄物処理等 <input type="checkbox"/> その他	地下埋設物等の地中内の作業障害物 工事に影響する架空線・建物等の近接物 工事の実施にあたり各種の制約があり、工程的にも特に厳しく、施工の制限を受けた工事 地元調整や環境対策の制約が特に多い工事 休日・夜間工事が工程の60%以上を占める工事 工程上他工事の制約を受け、機械・人員の増強を行った工事 工事に先立ち又は施工中で、監視・観測等の結果に基づき、工法変更を行った工事 環境対策が工程に大きな影響を与えた工事 大気圧を越える気圧下の作業室での工事 大規模なテレビ電波障害対策工事を行った工事 酸欠、有毒・可燃性ガス等の対策が必要な工事 地上・水面から10m以上(10m以下)での工事
	5. 施工状況 <input type="checkbox"/> 災害等での臨機の処置 <input type="checkbox"/> 施工状況の変化に対応した施工・工法等 の自発的提案と対応等 <input type="checkbox"/> その他 (理由)	特に困難な調整を要する他工事(近接工区)の請負者が複数ある工事 外来者の多い施設で、作業範囲内に外来者・通行人の動線がある工事
評 点	点	高度キーワードの詳細(評価内容を詳細記述)

※1. 高度な技術力は、加点評価とする。該当キーワード数の数と重みを勘案して評価する。

※2. 高度な技術力とは、工事全体を通して他の類似工事に比べて、特異な技術力を要する必要があった技術の評価するものである。なお、評価は「5. 創意工夫」との二重評価はしない。

※3. 詳細評価の記述にあたっては、工事担当課長との合議とし、各考査項目はキーワードで大分類し、評価する詳細な高度な技術力を記述する。

※4. 高度技術は「実用新案・特許クラス」から「現場に適用した本当に些細な工夫ではあるが非常に役立つ軽微な工夫」まで様々なレベルがあるが、「5. 創意工夫」で評価しなかったものを対象とする。

※5. 1項目2点を目安とするが、内容によってはそれ以上又は以下の点数を与えてもよい。なお、加点は+13点~0点の範囲とする。

建築 工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法]該当する項目の□にレマークを記入する。

(工事監督員)

評価項目	技術力キーワード一覧表	左記チェック項目の具体的事例	点数				
5. 創意工夫 軽微なもの	1. 準備後片付け <input type="checkbox"/> 測量・位置出しにおける工夫 <input type="checkbox"/> 現地調査方法の工夫 <input type="checkbox"/> その他 ()	_____	点				
	2. 施工 <input type="checkbox"/> 施工に伴う器具・工具・装置類の工夫 <input type="checkbox"/> 工場加工製品等を活用し、副産物及び廃棄物の減少に工夫及びリサイクルに対する積極的な取り組み <input type="checkbox"/> 土工事、地業工事、鉄骨建て方、コンクリート工事等の施工関係の工夫 <input type="checkbox"/> 電気工事等の、配線、配管等での工夫 <input type="checkbox"/> 給排水・衛生設備工事等の配管・ポンプ類の凍結防止策、つなぎ等の工夫 <input type="checkbox"/> 照明・視界確保等の工夫 <input type="checkbox"/> 仮排水、仮道路、迂回路等の計画施工の工夫 <input type="checkbox"/> 運搬車両・施工機械等の工夫 <input type="checkbox"/> 支保工、型枠工、足場工及び仮橋、覆工版、山留め等の仮設工関係の工夫 <input type="checkbox"/> 施工管理及び品質向上等の工夫 <input type="checkbox"/> プレハブ工法等を採用し、工期短縮等の工夫 <input type="checkbox"/> 改修工事等における仮設施工の工夫 <input type="checkbox"/> その他 ()	_____			点		
	3. 品質 <input type="checkbox"/> 集計ソフト等の活用と工夫 <input type="checkbox"/> 躯体工事の品質管理の工夫 <input type="checkbox"/> 材料の検査試験に関する工夫 <input type="checkbox"/> 施工の検査試験に関する工夫 <input type="checkbox"/> 品質記録方法の工夫 <input type="checkbox"/> その他 ()	_____				点	
	4. 安全衛生 <input type="checkbox"/> 安全仮設備等の工夫（落下物、墜落・転落、挟まれ、看板、立入禁止柵、手摺り、足場等） <input type="checkbox"/> 安全教育、技術向上講習会等、教育・ミーティング、安全パトロール等に関する工夫 <input type="checkbox"/> 現場事務所、労務者休憩所等の居住空間及び設備等の工夫 <input type="checkbox"/> 酸欠対策・有毒ガス・可燃ガスの処理 及び粉塵防止策や作業中の換気等の工夫 <input type="checkbox"/> 供用中の道路等の事故防止及び一般交通確保等のための工夫 <input type="checkbox"/> 苦渋作業等の作業環境低減等の工夫 <input type="checkbox"/> ゴミの減量化、アイドリングストップの励行等の地球環境への工夫 <input type="checkbox"/> その他 ()	_____					点
	5. 施工管理 <input type="checkbox"/> 出来形管理等に関する工夫 <input type="checkbox"/> 施工計画書及び写真管理等に関する工夫 <input type="checkbox"/> 出来形、品質との計測関係等の工夫及び集計、管理図等の工夫 <input type="checkbox"/> C A D、施工管理ソフト、度量管理システム等の活用 <input type="checkbox"/> その他 ()	_____					
※1. 創意工夫においては「5. 高度な技術力」の考査項目において評価するほどではないが、企業の工夫やノウハウにより特筆すべき便益があれば加点・抽出記載する。 ※2. 創意工夫においては、加点評価とする。該当キーワード数の数と重みを勘案して評価する。 ※3. 「2. 施工状況」「3. 出来形及び出来映え」においても創意工夫は加点対象とするが、企業努力を引き立たせるため本考査項目でも再評価する。 ※4. 詳細評価の記述にあたっては、工事担当課長との合議とし、各考査項目はキーワードで大分類し、評価する詳細な高度な技術力を記述する。 ※5. 創意工夫は「実用新案・特許クラス」から「現場に適用した本当に些細な工夫ではあるが非常に役立つ軽微な工夫」まで様々なレベルがあるが、本項目では軽微なものを対象とする。 ※6. 1項目1点を目安とするが、内容によってはそれ以上の点数を与えてもよい。なお、加点は+7点~0点の範囲とする。		_____	評点	点			

建築

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

[記入方法]該当する項目の□にレマークを記入する。

(工事担当課長)

評価項目	細 別	a	b	c	d	e
		非常に優れている	やや優れている	他の事項に該当しない	やや不備である	不備である
2. 施工状況	II. 工程管理	(評価項目) <input type="checkbox"/> 災害復旧工事及び施工条件の変更等による工期的な制約がある中で余裕をもって工事を完成させた。 <input type="checkbox"/> 隣接する他の工事等との積極的な工程調整を行い、トラブルを回避した。 <input type="checkbox"/> 地元調整を積極的に行い、トラブルも少なく、工期内に工事を完成させた <input type="checkbox"/> 配置技術者（現場代理人等）の積極的な工程管理の姿勢が見られた。 <input type="checkbox"/> その他（理由）				
	III. 安全対策	a	b	c	d	e
		非常に優れている	やや優れている	他の事項に該当しない	やや不備である	不備である
		(評価項目) <input type="checkbox"/> 建設労働災害、公衆災害の防止への努力が顕著であった。 <input type="checkbox"/> 安全衛生管理体制を確立し、組織的に取り組んでいた。 <input type="checkbox"/> 安全衛生管理活動が活発で他の模範となっていた。 <input type="checkbox"/> 安全管理に関する技術開発や創意工夫に取り組んでいた。 <input type="checkbox"/> 安全協議会活動に積極的に取り組むなど、リーダーシップを発揮していた。 <input type="checkbox"/> 安全職場実現への取り組みが地域全体から評価されていた。 <input type="checkbox"/> その他（理由）				

評価項目	細 別	a	b	c	d	e
		非常に優れている	やや優れている	他の事項に該当しない	—	—
6. 社会性等	I. 地域への 貢献等	(評価項目) <input type="checkbox"/> 河川、海岸等の環境保全を具体的に実施した。 <input type="checkbox"/> 国立公園や県立公園等及び周辺地域等の環境保全、貴重種等の動・植物への保護等を具体的に対策した。 <input type="checkbox"/> 現場事務所や作業現場の環境を周辺地域との景観に合わせる等、積極的に周辺地域との調和を図った。 <input type="checkbox"/> 定期的に広報紙や現場見学会等を実施して、積極的に地域とのコミュニケーションを図った。 <input type="checkbox"/> 地域生活に密着したゴミ拾い、道路清掃等のボランティア活動等へ積極的に参加し、地域に貢献した。 <input type="checkbox"/> 災害時等に地域への援助・救援活動に積極的に協力した。 <input type="checkbox"/> その他（理由）				

※ 通常はC評価。評価対象項目を総合的に勘案して評価する。

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(工事担当課長)

評価項目	法令遵守等の該当項目																
8. 法令遵守等	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:50%;">措置内容</th> <th style="width:20%;">点数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input type="checkbox"/> 1. 指名停止 3ヶ月以上</td> <td style="text-align: center;">- 20点</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 2. 指名停止 2ヶ月以上 3ヶ月未満</td> <td style="text-align: center;">- 15点</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 3. 指名停止 1ヶ月以上 2ヶ月未満</td> <td style="text-align: center;">- 13点</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 4. 指名停止 2週間以上 1ヶ月未満</td> <td style="text-align: center;">- 10点</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 5. 文書注意</td> <td style="text-align: center;">- 8点</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 6. 口頭注意</td> <td style="text-align: center;">- 5点</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 7. 工事関係者事故または公衆災害が発生したが、ヒューマンエラー等軽微なため、口頭注意以上の処分が無かった場合（不問で処分した案件。もらい事故や交通事故は含まない。）</td> <td style="text-align: center;">- 3点</td> </tr> </tbody> </table> <div style="margin-top: 10px;"> <input type="checkbox"/> 該当項目なし </div> <p style="margin-top: 20px;">① 本評価項目（8. 法令遵守等）で評価する事例は、「工事の施工にあたり、工事関係者が下記の適応事例で上表の措置があった」場合に適用する。</p> <p>② 「工事の施工にあたり」とは、請負契約書の記載内容（工事名、工期、施工場所等）を履行することに限定する。</p> <p>③ 「工事関係者」とは、②を履行する工事現場に従事する現場代理人、監理技術者、主任技術者、品質証明員、請負会社の現場従事職員及び②を履行するために下請契約し、その履行をするために従事する者に限定する。</p> <p style="margin-top: 20px;">【上記で評価する場合の適応事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入札前に提出した調査資料等が虚偽であった事実が判明した。 ・ 承諾なしに権利義務等第三者譲渡又は承継を行った。 ・ 宿舍環境等の使用人等に関する労働条件に問題があり、送検等された。 ・ 産業廃棄物処理法に違反する不法投棄、砂利採取法に違反する無許可採取等、関係法令に違反する事実が判明した。 ・ 当該工事関係者が贈収賄等により逮捕または公訴された。 ・ 建設業法に違反する事実が判明した EX) 一括下請け、技術者の専任違反等 ・ 入国管理法に違反する外国人の不法就労者が判明し、送検等された。 ・ 使用人等の就労に関する労働基準法に違反する事実が判明し、送検等された。 ・ 監督または検査の実施にあたり、職務の執行を妨げた。あるいは不当な政治力等の圧力をかけ、妨害した。 ・ 下請代金遅延防止法第4条に規定する下請代金の支払いを、期日以内に行っていない。あるいは不当に下請代金の額を減じている。あるいはそれに類する行為がある。 ・ 過積載等の道路交通法違反により、逮捕または送検等された。 ・ 受注企業の社員に「指定暴力団」あるいは「指定暴力団の傘下組織（団体）」に所属する構成員、準構成員、企業舎弟等、暴力団関係者がいることが判明した。 ・ 下請けに暴力団関係企業が入っていることが判明した。あるいは暴力団対策法第9条に記されている、砂利、砂、防音シート、軍手等の物品の納入、土木作業員やガードマンの受け入れ、土木作業員用の自動販売機の設置等を行っている事実が判明した。 ・ 安全管理の処分が不適切であったために、死傷者を生じさせた工事関係者事故、または重大な損害を与えた公衆災害を起こした。 ・ 施工体制台帳、施工体系図が不備で、監督職員から文書等による改善指示を行ったが、これに従わなかった ・ その他 理由： 	措置内容	点数	<input type="checkbox"/> 1. 指名停止 3ヶ月以上	- 20点	<input type="checkbox"/> 2. 指名停止 2ヶ月以上 3ヶ月未満	- 15点	<input type="checkbox"/> 3. 指名停止 1ヶ月以上 2ヶ月未満	- 13点	<input type="checkbox"/> 4. 指名停止 2週間以上 1ヶ月未満	- 10点	<input type="checkbox"/> 5. 文書注意	- 8点	<input type="checkbox"/> 6. 口頭注意	- 5点	<input type="checkbox"/> 7. 工事関係者事故または公衆災害が発生したが、ヒューマンエラー等軽微なため、口頭注意以上の処分が無かった場合（不問で処分した案件。もらい事故や交通事故は含まない。）	- 3点
措置内容	点数																
<input type="checkbox"/> 1. 指名停止 3ヶ月以上	- 20点																
<input type="checkbox"/> 2. 指名停止 2ヶ月以上 3ヶ月未満	- 15点																
<input type="checkbox"/> 3. 指名停止 1ヶ月以上 2ヶ月未満	- 13点																
<input type="checkbox"/> 4. 指名停止 2週間以上 1ヶ月未満	- 10点																
<input type="checkbox"/> 5. 文書注意	- 8点																
<input type="checkbox"/> 6. 口頭注意	- 5点																
<input type="checkbox"/> 7. 工事関係者事故または公衆災害が発生したが、ヒューマンエラー等軽微なため、口頭注意以上の処分が無かった場合（不問で処分した案件。もらい事故や交通事故は含まない。）	- 3点																

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。「評価対象項目」は、○(適切であった)、×(適切でなかった)、対象外の□のいずれかにレマークを記入する。

(検査員)

審査項目	細 別	a	b	c	d	e
		施工管理が優れている	施工管理が適切である	他の事項に該当しない	施工管理がやや不備である	施工管理が不備である
2. 施工状況	I. 施工管理	<p>○ × 対象外 (評価項目)</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 契約書19条第1項第1号から5号に係わる設計図書の照査を行い、施工がなされていた。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工計画書と現場施工方法が一致していた。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工計画書が工事着手前に提出され、所定の項目が記載されているとともに、設計図書の内容及び現場条件を反映したものとなっていた。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 計画内容に変更が生じた場合は、その都度当該工事着手前に変更計画書を提出していた。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工体制台帳、施工体系図が整備されていた。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工計画書と現場の施工体制が一致していた。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 作業分担と責任の範囲が書面で確認できた。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 工事材料の資料の整理及び確認がなされ、管理されていた。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 品質確保のための対策など施工に関する独自の工夫が見られた。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 品質管理体制が確立され、有効に機能していた。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 建設廃棄物及びリサイクルへの取り組みが適切になされていた。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 建退共の証紙が適切に配布され管理されていた。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 工事の関係書類及び資料整理が適切にされていた。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 工事記録の整備が適時、的確になされていた。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 工事記録写真等の整理に工夫が見られた。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 自社の管理基準等が作成され、適切に管理していた。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 段階確認が適時、的確に行われていた。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他 (理由)</p>			<p><input type="checkbox"/> 設計図書と適合しない部分があり、文書により、補修指示を行った。</p> <p><input type="checkbox"/> 契約図書に基づく施工上の義務につき、検査員から文書により指示を行った。</p>	
		<p>該当数 () / 対象評価項目数 () = () %</p> <p>90%以上 : a</p> <p>80%以上90%未満 : b</p> <p>60%以上80%未満 : c</p> <p>60%未満 : d</p>			<p>上記1項目該当事項があれば : d</p> <p>2項目該当すれば : e</p>	
		<p>※評価対象外の項目は削除し、削除後の評価項目数を評価対象項目数として計算する。なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合、c評価とする。</p>				

建築

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。「評価対象項目」は、○(適切であった)、×(適切でなかった)、対象外の□のいずれかにレマークを記入する。

(検査員)

審査項目 細 別	工 種	a	b	c	d	e
		品質管理が適切である	品質管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	品質管理がやや不備である	品質管理が不備である
3. 出来形 及び 出来映え I. 品質	建築工事 (新築)	○ × 対象外 (評価項目) (躯体工事) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工計画書に適切な品質計画を定めており、管理されていた。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工の品質・形状が適切で、良好な施工であった。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 品質計画による品質管理記録が整備され、材料の品質証明も適切であった。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 不可視部分の写真記録が適切であった。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 品質管理方法が明確で、品質確保に創意工夫があった。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他(理由)			<input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当あれば：d	<input type="checkbox"/> 工事請負契約書第18条2項に基づき破壊検査を行った。 上記該当あれば：e
	(仕上工事) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工計画書に適切な品質計画を定めており、管理されていた。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工の品質・形状が適切で、良好な施工であった。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 品質計画による品質管理記録が整備され、材料の品質証明も適切であった。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 不可視部分の写真記録が適切であった。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 品質管理方法が明確で品質確保に創意工夫があった。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他(理由)					
		該当数 () / 対象評価項目数 () = () % 90%以上 : a ※評価対象外の項目は削除し、削除後の評価項目数を評価対象項目数として計算する。なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は、c評価とする。 80%以上90%未満 : b 60%以上80%未満 : c 60%未満 : d				
	建築工事 (改修)	a	b	c	d	e
		品質管理が適切である	品質管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	品質管理がやや不備である	品質管理が不備である
		○ × 対象外 (評価項目) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工計画書に適切な品質計画を定めており、管理されていた。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工の品質・形状が適切で良好な施工であった。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 品質計画による品質管理記録が整備され、材料の品質証明も適切であった。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 不可視部分の写真記録が適切であった。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 品質管理方法が明確で品質確保に創意工夫が見られた。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他(理由)			<input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当あれば：d	<input type="checkbox"/> 工事請負契約書第18条2項に基づき破壊検査を行った。 上記該当あれば：e
	該当数 () / 対象評価項目数 () = () % 90%以上 : a ※評価対象外の項目は削除し、削除後の評価項目数を評価対象項目数として計算する。なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は、c評価とする。 80%以上90%未満 : b 60%以上80%未満 : c 60%未満 : d					

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。「評価対象項目」は、○(適切であった)、×(適切でなかった)、対象外の□のいずれかにレマークを記入する。

(検査員)

評価項目	細 別	a	b	c	d	e
		品質管理が適切である	品質管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	品質管理がやや不備である	品質管理が不備である
3. 出来形及び出来映え	I. 品質	<input type="radio"/> × 対象外 (評価項目) (機材) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 機材の品質及び形状が、設計図書等に適合する証明書が整備されていた。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 製造者による試験が的確に行われ、設計図書等に適合する証明書が整備されていた。			<input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当あれば： d	<input type="checkbox"/> 工事請負契約書第18条2項に基づき破壊検査を行った。 上記該当あれば： e
		(施工) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 品質計画による品質管理記録が整備されていた。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工の品質・形状が適切で良好な施工であった。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工完了時の試験及び記録が適切であった。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 機能の適切性が確認できる、試運転等の記録が整備されていた。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 不可視部分の写真記録が適切であった。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他(理由)				
		該当数 () / 対象評価項目数 () = () % 90%以上 : a 80%以上90%未満 : b ※評価対象外の項目は削除し、削除後の評価項目数を評価対象項目数として計算する。なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合 60%以上80%未満 : c は、c評価とする。 60%未満 : d				

[記入方法] 該当する項目の口にレマークを記入する。「評価対象項目」は、○(適切であった)、×(適切でなかった)、対象外の口のいずれかにレマークを記入する。

(検査員)

考査項目	細 別	a	b	c	d
		仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い		他の事項に該当しない	仕上げが悪く全体的に美観が悪い
3. 出来形 及び 出来映え	II. 出来映え	<p>○ × 対象外 (評価項目)</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> きめ細かな施工がなされ、取り合いの納まりや端部まで仕上がりが良かった。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 関連工事との調整がなされ、全体に調和が良い仕上げであった。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 使用者に対する安全への配慮が適切であった。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 設備として高い品質・性能が確保されていた。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 運転及び保守点検に対する配慮が適切であった。</p> <p>該当数 () / 対象評価項目数 () = () %</p> <p>90%以上 : a ※各設備の種類ごとに評価する。</p> <p>80%以上90%未満 : b ※評価対象外の項目は削除し、削除後の評価項目数を評価対象項目数として計算する。なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合、c評価とする。</p> <p>60%以上80%未満 : c</p> <p>60%未満 : d</p>			